

# 2022 年度 応用地形判読士資格検定試験（通算第 10 回）

## 〔実技試験問題〕

### 実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施時間は、12 時 30 分から 15 時 30 分までの 3 時間とする。
  - (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
  - (3) 机上には、筆記用具など（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、定規、三角スケール、色鉛筆（12 色以上）、軟質色鉛筆（ダーマトグラフなど）、鉛筆削り、拡大鏡、実体鏡）、受験票、試験問題用紙、答案用紙、時計以外のものは置かないこと。
  - (4) 通信機器類および電子機器類（ウェアラブル端末（例えばスマートウォッチ）などを含む）の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
  - (5) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
  - (6) 解答は、図示を求める問題に対しては〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕に、論述を求める問題に対しては〔論述式答案用紙〕に、それぞれ記入すること。  
◆ 〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕および〔論述式答案用紙〕には、受験番号を必ず記入すること。  
受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点からすべて除外し、不合格とする。
  - (7) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加えて空中写真を判読すること。  
これらの結果は、その地形図上に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
  - (8) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある〔記号凡例用紙〕に記入すること。
  - (9) 論述式の解答は、印刷してあるマス目にしたがい、楷書で読みやすく記入すること。
  - (10) 試験問題には、国土地理院発行の地形図と空中写真を使用している。地形図は、注記がある場合を除いて、上を北としている。
  - (11) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
  - (12) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。  
ただし、①地形図、②記号凡例用紙、③論述式答案用紙、④空中写真は、机の上に残すこと。
- ◆ 新型コロナウイルスによる感染が疑われる症状（発熱、咳、倦怠感など）があるときは、直ちに監督員に申し出ること。状況に応じ、一旦退席、または試験の辞退をお願いすることがある。

◆ [地形図] と [記号凡例用紙] および [論述式答案用紙] には、  
**受験番号** を必ず記入すること。

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読によって地形を分類し、その結果を地形図上に図示しなさい。その際、この地域で想定される土砂災害・水害との関係に着目して、地形を分類すること。また、活断層の可能性を示唆する地形があれば、それも図示すること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の [記号凡例用紙] に記入しなさい。

なお、空中写真的撮影年と撮影縮尺は、次のとおり。

整理番号	コース番号	撮影年	撮影縮尺
CB73-9Y	C3A	1974 年	40000 分の 1
CB61-7	C23	1961 年	10000 分の 1

2. 土砂災害、水害、地震に関連する災害のそれから、この地域の中で発生する可能性が高い具体的な災害現象を一つずつ挙げ、その地形的・地質的根拠を、論述式答案用紙に合計 800 字を超えないように記述しなさい。

必要に応じ、地形図中の参照する地点や地域に、記号や番号などを付してもよい。

#### <参考>

地形図 国土地理院「電子地形図 25000」／出題範囲は図示の経度・緯度を参照  
(データ取得日 : 2022 年 07 月 04 日)  
空中写真 整理番号 : CB73-9Y ／ コース番号 C3A ／ 写真番号 : 4, 5, 6  
整理番号 : CB61-7 ／ コース番号 C23 ／ 写真番号 : 5, 6, 7, 8

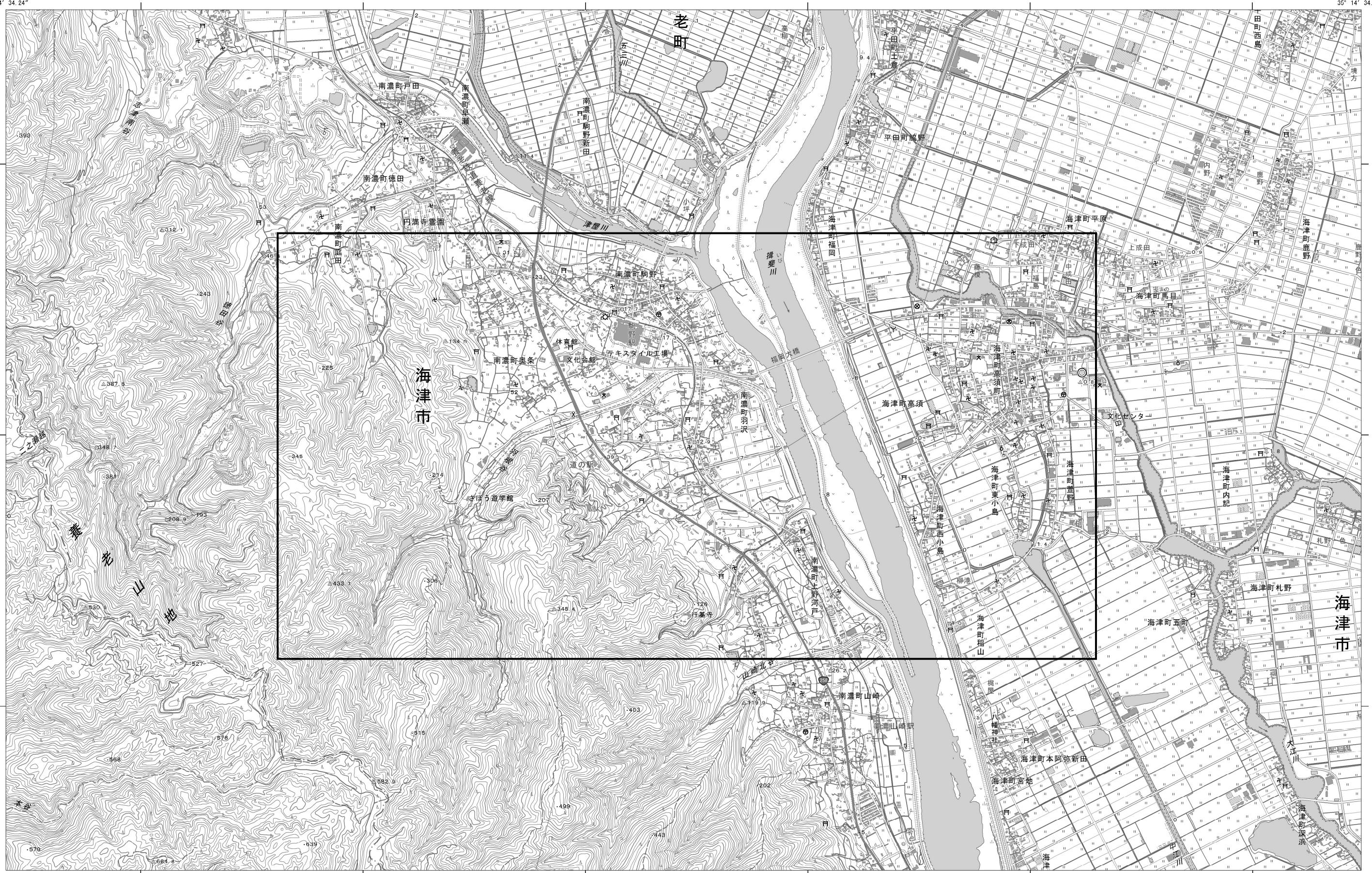
# 電子地形図25000

受験番号

136° 33' 23.51"  
35° 14' 34.24"

500m  
0 500 1000 1500

136° 39' 29.42"  
35° 14' 34.24"



136° 33' 23.63"  
35° 11' 23.58"

136° 39' 29.31"  
35° 11' 23.58"

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帶、中央子午線は東経135°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル

5. 磁気偏角は西偏約7° 50'
6. 図式は平成24年電子地形図25000図式
7. 本図上部の枠内には、この地図の購入者が  
入力したものそのまま記載しています

令和4年 7月 4日 調製

著作権所有兼発行者 国土地理院

136.61-35.22-A3-y-20220704-170710-0000